

安心して使える！ 本当に効く 空間除菌剤

製品情報は
こちら
Scan here
扫一扫



塩素
不使用

説明書はこちら▶

アルコール除菌プレミアム 【特許出願中】
ウィルシャットお部屋用1発ジェット
100ml

使用説明書

使用に際しては必ず製品表示を読み、
充分理解した上で使用してください。

※必要に応じて読めるよう、
この説明書を保管してください。

【有効成分等】ベンジルアルコール、エタノール、香料
【内容量】100ml
【適用面積】6～12畳(10～20㎡)に1回1缶



フマキラー株式会社

〒101-8606 東京都千代田区神田美倉町11
お客様相談室 ☎0077-788-555 ☎03-3255-6400 ①

事前準備

1 湯沸し器の種火やヒーター等を消し、
ガスの元栓を閉めてください。換気扇
およびエアコンを止め、窓を閉めてください。

2 ガス警報器やガスと
火災の両方を感知する
複合型警報器は、ポリ袋等
で覆い、霧が入らないよう
に周囲をテープ等で目張り
してください。



ペット、観賞魚および
水棲生物等の水槽や
昆虫の飼育カゴなど

必ず部屋の外に出
してください。(移動
できない大型水槽
のある部屋では使
用しないでください)

透明のプラスチック製
品(照明器具等)、仏壇・
仏具、美術品、観葉植物

ポリ袋等で覆って
ください。

精密機器(テレビ、パソ
コン、ゲーム機器、オー
ディオ、ディスク、磁気
テープ)、楽器

壁、クロス、カーテン、
ニス等の塗装面、ワッ
クス加工面

薬剤(霧)が直接か
からないようにし
てください。

使用方法

1 本品を部屋の中央の床に置いてくだ
さい。(直接火災報知器に霧が当たら
ない場所)

2 ボタンを手前にして
(噴射口を身体に
向けないように)置いて、
カチッと音がして固定
される位置までボタンを
押ししてください。(一度押
すと全量噴射されます)
ボタンを押すと同時に薬
剤(霧)が噴射し始めます。
噴射開始後、直ちに退室
してください。(噴射時間
約120秒)



※噴射口の真上に顔を近づけないように注意してください。

3 本剤を使用した後、1時間部屋を閉め
切った状態にしておいてください。
この間、部屋に入ることは避けてください。

使用後

本剤の使用後は、部屋を十分に換気
してから入室してください。その後で、
必ずガス警報器や複合型報知器に
かけた覆いを取ってください。

食器等が霧にふれても問題はありま
せんが、薬剤臭が気になる場合などは
食器用洗剤等で洗ってから使用して
ください。

衣類や布団、口に入れる可能性のある
おもちゃに霧がふれても問題はありま
せんが、薬剤臭が気になる場合は洗剤
で洗うか天日干しを行ってください。

【使用上の注意】●定められた使用量、使用
方法を必ず守り、使いすぎないようにすること。
●本品は6～12畳の部屋用なので、6畳未満
の狭い空間や浴室などでは使用しないでくだ
さい。●本剤は可燃性ガスを使用しているので、
火気には充分注意し、特にガス湯沸し器の
種火やヒーターなどは必ず消し、ガスの元栓
を閉めること。引火・爆発の恐れがあります。
●ガス警報器やガスと火災の両方を感知
する複合型報知器は、噴射ガスに反応し、
警報器が鳴ることがあるので、ポリ袋等で
覆い、テープ等で周囲を目張りすること。
目張りが充分でないと警報器が鳴ることが
あります。使用後は、必ず覆いを取ること。
●集合住宅等の集中管理方式のガス警報
器や火災報知器の場合は、住宅管理者と
相談の上使用すること。●ペット、観賞魚
および水棲生物等の水槽や昆虫の飼育
カゴ等は、あらかじめ部屋の外に出すこと。

●透明のプラスチック製品(照明器具等)、
仏壇、仏具、美術品、観葉植物はポリ袋等で
覆うこと。しみ、変色の原因となることが
あります。●壁、クロス、カーテン、ニス等の
塗装面、ワックス加工面、家具等は薬剤が
直接かからないようにすること。しみ、変色
の原因となることがあります。●精密機器
(テレビ、パソコンゲーム機器、オーディオ、
ディスク、磁気テープ)、楽器等はポリ袋等
で覆うこと。(大型コンピューター等のある
部屋では使用しないこと)●部屋はできる
だけ密閉して使用すること。●本剤は、
必ず立てた状態で部屋の中央に置くこと。
●ボタンを手前にして(ノズルを身体に
向けないように)置くこと。ボタンを押すと
同時にノズルから斜めに薬剤(霧)が
噴射するので、顔にかからないように注意
すること。●人に向かって噴射しないで
ください。また、薬剤を吸入しないでください。

●キャップが外れた場合は、使用を中止する
こと。●薬剤が出始めたら、必ず部屋から外に
出ること。使用中は入室を避け、1時間後充分
換気してから入室すること。●眼に対して
刺激性があるので、薬剤(霧)が眼に入った場合
は直ちに充分水洗いし、眼科医の手当てを
受けること。●薬剤(霧)が皮膚についた場合
は石けんで充分洗うこと。●身体に異常を
感じた際は医師の診療を受けること。
【保管上の注意】●火気や直射日光をさけ、
涼しい場所に保管する。●小児の手の届かない
場所に保管する。●水回りや湿気の多い場所
に置かない。●暖房器具(ファンヒーター等)
の周囲と高温になる場所、車内は温度が上がり
破裂する危険があるので置かない。
【廃棄の方法】●使用後は火気のない屋外
で使い切ったことを確認し、地域の分別
区分に従って廃棄する。